

アントロポゾフィー医療講座

健康はどこからくるのか？

現代は、アレルギーや癌などの現代病とも言える病気が増えている一方で、健康への関心が非常に強いと言えます。

健康に関する情報は、玉石混交、巷にあふれていて、何を信じていいのかわからないという人も多いでしょう。

アントロポゾフィー医学では、教育は予防医学であり、医学は健康への教育である、と考えています。

自分や家族の健康を、自ら生みだすことはできるのでしょうか？
一緒に考えたいと思います。

- と き** 2016年2月21日(日) 10時~12時
と ころ 宮司コミュニティセンター 裏面地図参照
(福津市宮司浜2丁目15-1)
講 師 安達 晴己(医師、アントロポゾフィー医学認定医師)
参加費 1500円 (NPO 法人賢治の学校ふくおか正会員1000円)



託児：800円(要予約) 託児受付は2/13まで。
お申し込みの際に、名前 年齢(月齢) アレルギーの有無
をお伝えください。着替え、帽子を持ってきてね。

*当日のキャンセルは託児料のみいただきます

主催・お申し込み・お問い合わせ

NPO法人賢治の学校ふくおか 事務局

tel&fax 0940-52-0886(牧野)
〒811-3311 福岡県福津市宮司浜3-6-26
e-mail: kenji-fukuoka@ac.auone-net.jp
ホームページ: <http://www.kenjinogakkou-fukuoka.com>



講師紹介

安達晴己



医師、アントロポゾフィー医学認定医。

医師として研修後、子育てを通してシュタイナー教育と出会う。

賢治の学校ふくおかの活動に参加。親としてたんぽぽこども園の設立に関わる。現在も理事、園医を務める。

2010年アントロポゾフィー医学の認定医を取得。

通常医学の診療所に非常勤として勤務。アントロポゾフィー医療を自由診療で行う、小さいおうち自由クリニックを福津市に2011年11月に開所。

日本アントロポゾフィー医学のための医師会代表。二児の母。

・アントロポゾフィー医学とは…

アントロポゾフィー、ヴァルドルフ教育の提唱者であるオーストリアの哲学者ルドルフ・シュタイナーと、オランダのイタ・ヴェーグマン医師によって研究・実践された医学である。

自然科学に基づいた現代の医学に、ルドルフ・シュタイナーが研究した人間の本質や身体的魂的發展、人間と自然と宇宙の総合的な進化についての認識を付け加えるものである。

世界60か国以上に広がり、ドイツ・スイスでは公的保険が適応される病院や診療所がある。日本では2004年から海外講師を招いての国際アントロポゾフィー医学セミナーが開かれ、医師・医療従事者が研修している。

・賢治の学校ふくおかについて

「子どもたちが生きる希望の持てる社会をつくらう、大人の責任において」を基本理念として子どもが本当に自由な大人へと成長していくことを目指すシュタイナー教育を手掛かりに、子どもたちが安心して過ごし成長していける場を親と教師がともに作っていきます。

現在、保育施設「たんぽぽこども園」を中心に小学生土曜クラス、未就園児親子クラス、大人のため学習会などを主催しています。

